

土木学会論文集和文原稿作成例

土木 太郎¹・四谷 花子²

¹正会員 土木大学教授 工学部土木工学科 (〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目無番地)

E-mail: doboku@jsce.ac.jp

²正会員 土木建設株式会社 技術開発部 (〒160-0004 東京都新宿区三矢六丁目 13-5)

E-mail: hanako@jsce.co.jp (Corresponding Author)

要旨の長さは 350 字以内です。キーワードは 5 つ程度書いて下さい。

Key Words: *times, italic, 10pt, one blank line below abstract, indent if key words exceed one line*

1. はじめに

jjsce.cls の詳しい使い方については、同梱の readme.pdf を参照してください。

2. 見出し（見出しが 1 行以上に長くなるときはこの例のようにインデントし折り返されます）

見出しのレベルは章、節、項の 3 段階までとします。項より下位の見出しは用いないで下さい。

3. 数式および数学記号

数式や数学記号は次の式

$$G = \sum_{n=0}^{\infty} b_n(t) \quad (1)$$

$$F = \int_{\Gamma} \sin z dz \quad (2)$$

のように本文と独立している場合でも、 $C_D, \alpha(z)$ のように文章の中に出てくる場合でも同じ数式用のフォントを用いて作成します。数式や数学記号の品質が悪いと版下原稿として受け付けません。

4. 図表

(1) 図表の位置

図表はそれらを最初に引用する文章と同じページに置くことを原則とします。原稿末尾にまとめたりしてはいけません。また、図表の横幅は、「2 段ぶち抜き」あるいはこのサンプルの表-1 や図-2 のように「1 段の幅いっぱい」のいずれかとします。図表の幅を 1 段幅以下にして図表の横に本文テキストを配置することはやめて下さい。図表と文章本体との間には 1~2 行程度の空白を空けて区別を明確にします。

(2) 図表中の文字およびキャプション

図表中の文字や数式の大きさが小さくなり過ぎないように注意してください。特にキャプションの大きさ (9pt) より小さくならないようにして下さい。長いキャプションは表-1 のようにインデントして折り返します。

表-1 表のキャプションは表の上に置く。インデントが長いときは自動的に折り返される。

資料番号	高さ $h(\text{m})$	幅 $w(\text{m})$
1	1.45	0.25
2	1.75	0.40
3	1.90	0.65

“`\usepackage{jjsce-macros}`” を有効にしている場合、図表の参照に “`\figref{}`”, “`\tabref{}`” が使えます。

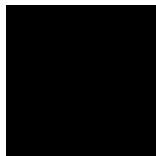


図-1 図のキャプションは図の下に置く

5. 参考文献の引用とリスト

参考文献は出現順に番号を振り、その引用箇所でのように¹⁾上付き右括弧付き数字で指示します。参考文献はそのすべてを原稿の末尾の REFERENCES にまとめてリストとして示し、脚注にはしないでください。既往研究としての参考文献以外に、根拠資料や史的研究の資料としての文献を示す場合には、REFERENCES とは別に引用箇所でのように^{注1)}上付き文字で指示し、NOTES として REFERENCES の前にリストを示してください。NOTES には本文に対するその他の文末注も含まれます。そのため NOTES の書式は、本文に補足すべき十分な情報を含めれば特に規定をしないものとします。REFERENCES は英語表記（和文の場合は [] 内に英文併記）を求めますが、NOTES は文献通りの表記で示してください。

`\usepackage[superscript]{cite}`を有効にしている場合、“`\cite{a,b,c,d}`”と記述すると、¹⁾⁻⁴⁾と記載されます。“文献\Cite{a}”と記述すると、文献 1) と上付き添字ではなく文章中に記載されます。

謝辞：「謝辞」は「結論」の後に置いて下さい。

付録 付録の見出し

付録の section が一つしかない場合は、付録に番号をつける必要がありません。“`\section*{}`”を用いてください。付録の section が複数ある場合は、“`\section{}`”を用いてください。

NOTE

注 1) 1933 (昭和 8) 年 7 月 20 日発都第 15 号地方長官・都市計画地方委員会長宛内務次官通牒「都市計画調査資料及計画標準ニ關スル件」

REFERENCES

- 1) 本間仁, 安芸皓一: 物部水理学, pp. 430-463, 岩波書店, 1962. [Honma, S. and Aki, K.: *Mononobe Suiri-gaku*, pp. 430-463, Iwanami Shoten, 1962.]
- 2) 日本道路協会: 道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編, pp. 110-119, 1996. [Japan Road Association: *Dorokyo-shihosyo & Doukaisetsu IV Kabukouzo-hen*, pp. 110-119, 1996.]
- 3) Shepard, F. P. and Inman, D. L.: Nearshore water circulation related to bottom topography and wave refraction, *Trans. AGU.*, Vol. 31, No. 2, 1950.
- 4) C. R. ワイリー (富久泰明訳): 工学数学 (上), pp. 123-140, ブレイン図書, 1973. [Wylie, C. R. (translated by Tomihisa, Y.): *Advanced Engineering Mathematic*, Brain-tosho, 1973.]

(Received ??? ?? 202?)

(Accepted ??? ?? 202?)

FORMATTING JAPANESE MANUSCRIPT FOR JOURNALS OF JSCE

Taro DOBOKU and Hanako YOTSUYA

The length of English abstract should be 300 words or less.